

2019年(令和元年)12月16日(月)掲載

# くらし

## エンジョイ! スポーツライフ

生涯スポーツ編 ④

東京五輪・パラリンピックまであと少しですね。今回のパラリンピックは今までより注目度が高い気がします。昨年の平昌冬季パラリンピックでの日本選手の活躍も記憶に新しいところです。秋田でも障がい者スポーツが徐々に熱を帯びています。

毎年秋口には県障害者スポーツ大会が開催されます。今年も全競技合わせて約700人の選手が、サポートの方とともに参加しました。私も陸上競技に医師として帯同したのですが、選手の方の真剣な眼差しに心を奪われました。

主催する県障害者スポーツ協会では、大会だけでなく、障害者スポーツ体験交流事業、用具の貸し出し、スポーツ推進員による指導や支援もして



### 参加の仕方さまざま

方は、まずは誰でも取り組める障がい者スポーツから始めてみるのもいいかもしれません。興味のある人はぜひ県障害者スポーツ協会まで問い合わせてください。

きむら・りょうた 86  
年北秋田市生まれ。秋田大医学部卒業、同大学院修了。18年4月から現職。整形外科・リハビリテーション科専門医。障害者スポーツ医。

先日ポッチャ体験会が行われ、理学療法士の方々が参加し、サポートも行いました。JR大館駅にはポッチャコートがあるので、いつでも体験できますよ。

スポーツ庁ではスポーツを「する」だけでなく、「見る」(watching)こともスポーツとしています。いろいろな参加の仕方がありますので、皆さんも障がい者スポーツに参加してみませんか。



介さんが立ち上げた義足スポーツチームAmberins(アンベインズ)からは、パラリンピック候補の選手も誕生しています。

ポッチャは、世界大会で上位の成績を収めるタイが大館市でパラリンピックの事前合宿を行います。

(木村竜太・秋田厚生医療センター整形外科医 長)

9月に県障害者スポーツ大会で行われた100メートル走の様子(秋田市のソニースタジアム 八橋陸上競技場) 載

▲第1、第3月曜日掲載